

実施: 令和 5年 11月

事業所名 すてっぷ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	0	・お子さんに各部屋に分散して過ごしてもらえるよう声かけや環境設定をしている。 ・部屋を使い分けつつ活動している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2	0	・日によっては、個別対応が難しい日もあるが、学生バイトやボランティアの手も借りながら、活動している。	・今後も学生アルバイトやボランティアの募集を行っていきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	0	・スロープ、トイレの手すり等設置している。 ・手すりなどもついているが、トイレはもう少し広い方がありがたい。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	0		
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0		
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	・アセスメント時の情報に加えて、日々の関りでのエピソードも踏まえて作成しているが、もう少し、アセスメントの時間をじっくりとれるよう工夫したい。	・アセスメントのとり方(時間・場所など)を工夫していきます。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	・前以って年間計画をチームで立て、毎月のプログラムも、チームで立てている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	・活動がルーティンになっている現状はあるが、その中に季節の工作などの活動を取り入れるなどの変化をつける工夫は行っている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	・申し送りの時間を持っている。 ・休日、長期休暇などは職員がそろわずできていないことがある。	・長期休暇など申し送りに職員全員の参加が難しい時でも必要な情報の共有を行うようにしていきます。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	5	0	・退勤時間が異なるため、全員では行えていない。個別で当日もしくは翌日で共有している。回覧板も活用している。 ・終了後にできていない日もあるが、次の日には情報を共有することができている。 ・終了後には送迎時でできていないため、翌日に共有している。 ・その日のうちにできていないこともある。	・HUGの活用も行いながら振り返りや気づいた点などの共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	・必要に応じて、こまめなモニタリングを行い、計画の振り返り→計画変更や修正を行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	・児発管が出席している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	0	・利用・受け入れが現時点でなし。 ・まだ医療的ケア児がいいため主治医との連絡体制を整えているかわからない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	2	・回数は少ないが以前に提供したケースはある。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	・放課後児童クラブや児童館との交流はあまりない。	・地域や法人内事業との交流機会を検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0	・事業所としての出席はないが、法人内の出席者から必要に応じて情報を共有してもらっている。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	・連絡帳、送迎時の受け渡し時にやりとりをしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	0	・事業所での対応方法などをお伝えすることはある。 ・保護者向けの企画は開催している。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	・契約時やサインをいただく際に説明をしている。	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	・相談に応じ、必要であれば他機関につなぐ等している。	
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	0	・講座や事業所、見学会等実施している。より多くの人に参加してもらえよう開催日時や内容を工夫したり、呼びかけをしていきたい。	・すてっカフェなどの企画を今後も行っていきます。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	・ご意見をいただいた時や、行き違いがあった時は迅速に対応できるよう心がけている。できるだけ、顔を合わせてお話ができるように心がけている。	
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		
	⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	・口頭や電話だけのやりとりではなく、必要に応じてメモ等形に残るようにしている。 ・口頭での連絡にするなど	
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	・ゴミ拾いはしているが、地域住民を招待することはできていない。	・地域の方との交流を深めることができる機会を見つけていながら、普段の挨拶などの基本的なことを今後も行って地域に開かれた事業運営を行っていきます。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	・玄関に貼り出しをしているが、保護者には十分に行き届いていないように思う。年に1回周知していけるよう整えていきたい。	・保護者への周知の方法を工夫していきます。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	・年2回、火災、地震を想定して行っている。シチュエーション等変えつつ、非常時に臨機応変に対応できるよう行っている。振り返りもを行い、次回に生かしている。	
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0		
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0		
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0		
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。